

### 生演奏の迫力を体験

〜スクールコンサート

東北電力㈱が主催するスクールコンサートが、7月17日に米内沢小学校体育館で開催され、米内沢小学校、浦田小学校、前田小学校、大阿仁小学校4校の児童360名が本物の演奏にふれました。

演奏は山形交響楽団によって行われ、楽団員によるわかりやすい曲の紹介とともにベートーベンの「運命」やベルギユントの「朝の気分」などポピュラーなクラシック5曲はじめ、アニメ映画のテーマ曲3曲が演奏され、児童たちは、演奏が終わるたびに盛んな拍手をおくって、会場いっぱい響く迫力ある生の音楽を楽しんでいました。



指揮者体験では、実際にタクトを振って楽団の指揮にチャレンジ

### にぎわいのある商店街に

〜今年2回目の軽トラック市

採れたての野菜などを直売する「軽トラック市」が7月20日、歩行者天国となった鷹巣駅前商店街で開かれ、格安の新鮮野菜などを求める市民らで賑わいました。

今回は、大館市からも2事業者が参加、市内からは花や観葉植物を販売した大野岱吉野学園や鮮魚や野菜を売る個人商店など8事業者が出店、道路の中央には、野菜や加工品などの特産物を積み込んだ車両がずらりと並びました。また、フリーマーケットには、市消費者の会や民芸品や衣類などを扱う個人など10団体が出店したほか、抽選会、カラオケなどのイベントも行われ、詰め掛けた市民らは賑やかな市日を楽しんでいました。



たくさんの軽トラックの出店が並び、市民らで賑わう鷹巣駅前商店街

### 多彩な芸術文化を堪能

〜合川地区文化交流会・合川芸文祭

第2回合川地区文化交流会及び第20回合川芸文祭が7月6日、合川農村環境改善センターで開催されました。

午前中に行われた文化交流会では、木戸石芸能保存会、オカラ・パルによるギターとハーモニカ演奏、根子番楽保存会、外国語指導助手のトリステン・ティーンさんのグループによるパグパイプ演奏などの発表が行われました。また、午後から行われた芸文祭では、陶芸華道・俳句などの作品が展示されたほか、演示部門では、舞踊・コーラス・民謡・吹奏楽など10団体の学習成果が披露され、日々鍛錬された発表者らの熱演に多くの来場者から大きな拍手が送られました。



日頃の学習の成果を披露した合川地区文化交流会・合川芸文祭

### 開港10年の節目を祝う

〜大館能代空港が開港10周年

平成10年に開港した大館能代空港の、開港10周年記念感謝祭が7月20日、同空港で開かれ、関係者らがくす玉を開いて節目を喜びあったほか、市内外から訪れた家族連れなどが各種イベントを楽しみました。

記念式典では、空港が開港した平成10年7月18日と同じ日に生まれた圏域内市町村4人の子どもたちに東京までの往復航空券がプレゼントされ、4人を代表し大館市の小学4年の児童2人が小畑元・大館能代空港利用促進協議会長から目録を受け取りました。

また、熱気球体験や空港で働く特殊車両などの展示では子どもたちの歓声が響くなど、盛りだくさんのイベントで終日賑わいました。



くす玉を開いて節目を喜びあったほか、盛りだくさんのイベントで賑わいました

### みんなで学ぼう・考えよう

〜新エネルギー教室開催

化石燃料に代わるエネルギーへの知識を深める「新エネルギー教室」が7月16日、大阿仁小学校と阿仁合小学校で開催され、4年生から6年生までの児童77名が、地球にやさしい新エネルギーについて学びました。

教室では、若手芸人が講師を務め、笑いやクイズを盛り込み、石油や石炭の化石燃料から太陽光や風力、バイオマスなど新エネルギーへの転換が必要となっていることをわかりやすく説明しました。

また、児童たちは自ら作った風車で電気を起こし、ミニカーを走らせる実験を行い、エネルギーを作る難しさや大切さについて理解を深めました。



風車で発電させた電気で車を動かす実験で新エネルギーへの理解を深めました

### みんなで乗って残そう内陸線

〜前田駅前地区で乗車運動を展開

阿仁前田駅がある前田駅前地区では、7月20日に地区内の夫婦や親子連れなど約40名が参加し、内陸線存続に向けた乗車運動を展開しました。

この運動は、前田駅前商店会が地域住民に参加を呼びかけたもので、出発前に加賀隆之会長が、内陸線は存続の岐路に立っているが、乗って残さなければならぬと感じている。今日の取り組みをきっかけに、第2弾・第3弾と乗車の輪を広げていきたいとあいさつしました。

参加者らは、乗って残そう！内陸線の横断幕を掲げて、阿仁前田駅から角館までの小旅行を楽しみ、存続をアピールしました。



内陸線存続に願い、乗車運動を展開した前田駅前地区の皆さん